

「富士山からの御来光」

令和5年度
当初予算・組織定数改編(案)の概要

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり

～日本の「文化首都」の開幕～

予算編成・組織定数改編の方針

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～日本の「文化首都」の開幕～

方針1 人づくり・富づくりを着実に推進する取組

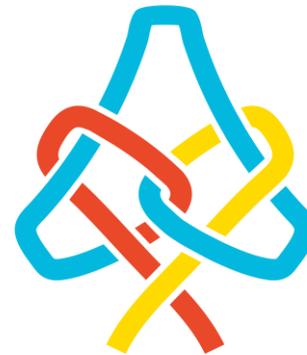
- (1) 安全・安心な地域づくり
- (2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦
- (3) 未来を担う有徳の人づくり
- (4) 豊かな暮らしの実現
- (5) 魅力の発信と交流の拡大

方針2 生産性の高い持続可能な行財政運営

- (1) 政策の推進に向けた組織体制の強化
- (2) 将来にわたって安心な財政運営の堅持

令和5年度のポイント

令和5年6月、富士山が世界文化遺産に登録されて10年を迎えます。
この節目の年に、「東アジア文化都市」の開催を通して、日本が誇る文化・芸術の魅力と、本県が有する多彩な資源を国内外に発信していきます。



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

予算の規模

一般会計

1兆3,703億円

対前年度比 +59億円 +0.4%

全会計

(単位:億円、%)

区分	R5当初	R4当初	増減	伸率
一般会計	13,703	13,644	59	0.4
特別会計	8,323	7,966	357	4.5
企業会計	875	839	36	4.3
計	22,901	22,449	452	2.0

歳出・歳入の特徴(一般会計)

<歳出>

(単位:億円)

区分	R5当初	R4当初	増減	主な要因
総額	13,703	13,644	59	
義務的経費	6,392	6,358	34	社会保障関連経費の増(+38)
投資的経費	1,867	1,935	△68	国直轄事業の減(△46)
その他	5,444	5,351	93	地方消費税交付金の増(+110)

<歳入>

(単位:億円)

区分	R5当初	R4当初	増減	主な要因
総額	13,703	13,644	59	
一般財源等	9,787	9,594	193	・地方消費税清算金収入の増(+219) ・実質的な地方交付税の減(△116)
特定財源	3,916	4,050	△134	国庫支出金の減(新型コロナ関連ほか△161)



方針1 人づくり・富づくりを着実に推進する取組

- (1) 安全・安心な地域づくり
- (2) 持続的な発展に向けた新たな挑戦
- (3) 未来を担う有徳の人づくり
- (4) 豊かな暮らしの実現
- (5) 魅力の発信と交流の拡大

1 安全・安心な地域づくり①

●防災・減災対策の強化

～地震・津波対策アクションプログラム
2023(仮称)の推進(期間:2023～2032)～

地震・津波対策等減災交付金 25億円

- ・市町の地震・津波対策を支援(R5～R7:75億円)
- 【拡充】「避難生活の質の改善」、「デジタル活用」
関連メニューの補助率嵩上げ(1/3→1/2～2/3)

「わたしの避難計画」普及事業費 4,000万円

- ・県民一人ひとりの避難計画を普及・展開
- R4:津波浸水想定区域、R5～7:その他の内陸区域

防災DX緊急対策事業費(新規) 6,600万円

- ・市町支援機動班の資機材整備、
ふじのくに防災情報共有システムの改修

●県土強靱化対策の推進

生活環境整備関連事業 総額430億円

道路、河川、砂防、農地等の整備 ほか

うち“人・地域をつなぐ道”緊急対策事業費(新規) 25億円

- ・駅・バス停周辺などの道路拡幅、歩道の段差解消
(R5～R6:50億円)

うち 豪雨等災害対策緊急事業費(新規) 25億円

- ・生活インフラ施設の周辺等の河川の拡幅、
砂防堰堤の整備(R5～R6:50億円) ほか

流域治水推進関連事業(新規) 4億3,600万円

- ・減災対策プランの策定(15か所)、
手動樋門等のフラップゲート化の設計(64基)



1 安全・安心な地域づくり②

●危険性のある盛土の安全対策の強化 ●感染症への対応力の向上

盛土緊急対策関連事業 17億9,400万円

- ・不適切な盛土の調査・応急対策
- ・熱海市逢初川源頭部の土砂処理(行政代執行)

【拡充】

盛土許可申請窓口を設置
(全土木事務所+8人)

【新規】

人工衛星を活用した盛土
調査の実証実験



ドローンを用いた盛土の監視

建設発生土処理官民連携推進事業費(新規) 1億円

- ・技術支援窓口の設置
- ・官民連携型ストックヤードのモデル整備(3か所)

新型コロナウイルス感染症対策関連事業 623億1,600万円

- (医療)
- ・確保病床の空床補償、軽症者等療養施設借上げ、ワクチン接種支援 ほか

(福祉)

- ・社会福祉施設の感染防止対策 ほか

※国の方針や感染状況等を踏まえ、随時見直し

新興感染症等対策関連事業 8億5,700万円



ふじのくに感染症管理センター

- ・ふじのくに感染症管理センターの整備 ほか
(R5.4設置 三島市)

1 安全・安心な地域づくり③

●安心して暮らせる医療・福祉の充実

社会健康医学推進関連事業 9億9,100万円

【新規】

社会健康医学大学院大学
博士課程の設置(R5.4)
ほか



静岡社会健康医学大学院大学

医師確保関連事業

17億8,600万円

【新規】

- ・非常勤指導医の東部派遣
- ・医師の配置調整サポート
チームの設置

【拡充】

医学修学研修資金・地域枠
の増(65人→68人)



バーチャルメディカルカレッジ

小児救急リモート指導医相談支援事業 費(新規) 2,100万円

- ・ベテラン指導医によるオンライン相談体制の構築

福祉介護人材確保・育成関連事業 6億9,200万円

【新規】海外の介護人材と県内介護事業所の
マッチング支援 ほか

介護保険関連施設整備事業費助成 33億600万円

- ・広域型特別養護老人ホーム 2か所 ほか



2 持続的な発展に向けた新たな挑戦①

●脱炭素・循環型社会の構築の加速化

脱炭素社会実現推進事業費

6億1,100万円



民間建築物ZEB化

- ・中小企業等の省エネルギー機器導入等を支援
- 【拡充】CO2削減量が多い取組の補助率を嵩上げ
補助率1/3 → 2/3
対象の追加(生産設備ほか)
- 【新規】民間建築物ZEB化の導入検討費の支援
(補助率1/2)

再生可能エネルギー導入促進緊急対策 事業費助成(新規)

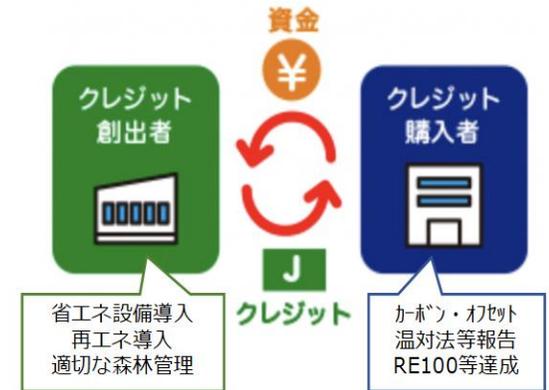
5億円

- ・中小企業等の太陽光発電設備、蓄電池の導入を支援(自己所有型、PPAモデル型)

ふじのくにカーボンクレジット創出支援 事業費(新規)

2,700万円

- ・農業、林業、中小企業における制度の普及、活用等を支援



J-クレジット制度の概要

2 持続的な発展に向けた新たな挑戦②

●DXによる新しいテクノロジーの社会実装

空間情報デジタル基盤構築事業費

1億2,000万円

- ・3D都市モデル(PLATEAU)の作成
プラトー
 国や東京都と連携し、データを公表
- ・3次元点群データ等を一元的に利用できる
 次世代インフラプラットフォームを構築

ふじのくにデジタルトランスフォーメーション 推進事業費

1億9,500万円

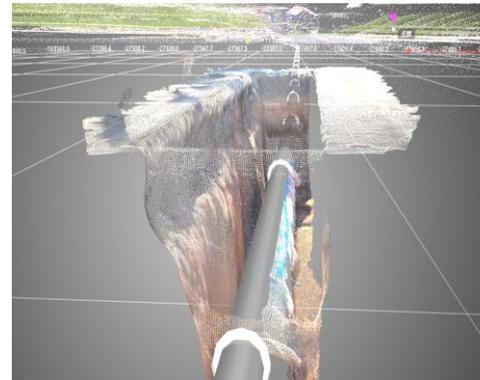
- ・行政手続のオンライン化
 (建設業許可、医薬品適合性調査)
- ・市町基幹システムの共通化支援
- ・ふじのくにデジタルサポーターの養成(300→500人)

工業用水道等におけるDX推進 2,300万円

【新規】管路更新のAI診断、管路台帳の3次元化 ほか



3D都市モデル



水道のDX化事例
(管路台帳の3次元化)



県庁周辺の3次元点群データ

3 未来を担う有徳の人づくり①

●子どもが健やかに学び育つ社会の形成

少子化対策関連事業

5億1,400万円

【新規】結婚・出産など、少子化対策に取り組む市町を支援(補助率1/2、上限額1,000万円/市町)



ふじのくに出会いサポートセンター

川で遊ぶ子ども

出産・子育て応援事業費助成

21億5,200万円

- ・出産・子育て応援ギフトの支給(妊娠、出産時各5万円)
- ・伴走型相談支援 ほか

子ども・子育て支援給付費負担金

190億8,400万円

- ・保育所等の運営費や保育無償化等の費用を負担

子どもの安全対策関連事業

3億9,200万円

【新規】保育総合相談窓口の設置

無通告による保育施設の指導監査

【拡充】大規模保育所への保育士配置加算

4、5歳児(1→2人)

・通学路における防犯対策

防犯カメラ、交通安全施設等の整備 ほか

※一部再掲



保育士の追加配置



防犯アプリ

3 未来を担う有徳の人づくり②

●すべての子どもが大切にされる 社会づくり

医療的ケア児支援関連事業 1億7,000万円



医療的ケア児の訪問看護

【新規】通学、在校時の看護師による支援
ほか

【拡充】医療的ケア児等支援センターへのアドバイザーの配置
(福祉、教育分野ほか)

ヤングケアラー支援体制構築事業費 2,000万円

- ・アドバイザーによる市町支援
- ・市町向けガイドラインの策定 ほか

●魅力ある学びの場づくりの推進

県立学校施設整備関連事業

114億100万円

- ・長寿命化改修(16校23棟)
- ・新校整備(高校1校、特支4校)
- ・県立高校のトイレ洋式化
(R5設計12校16棟、全体事業費30億円) ほか

演劇教育導入推進事業費(新規)

6,200万円

- ・演劇専攻設置に向けた準備
清水南高校芸術科(R6.4月)

新県立中央図書館整備事業費(移転整備分)

1億5,500万円

- ・建設予定地の埋蔵文化財発掘調査 ほか

4 豊かな暮らしの実現①

● 本県産業を牽引する産業の育成

スタートアップ支援事業費(新規)

8,600万円



TECH BEAT Shizuoka2022

- ・スタートアップ企業支援のための戦略策定
- ・イノベーション拠点(SHIP)を活用した交流強化 ほか

リーディング産業育成事業費助成

9億1,600万円

- ・先端産業育成に向けた研究開発から事業化までの一貫支援

EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費

2億1,000万円

- 【新規】「デジタルものづくりセンター(仮称)」による地域企業への一貫した支援

● 富を支える地域産業の振興

中小企業等新事業展開促進事業費

助成(新規)

2億円

- ・物価高騰の影響を踏まえ、中小企業の新事業展開を支援(補助率2/3、上限300万円)

経営革新計画促進事業費助成

2億5,000万円

【拡充】物価高騰対策分 補助率嵩上げ

- ・要件:売上高△10%又は売上総利益△5%
- ・補助率1/2 → 2/3、上限500万円

小規模企業経営力向上支援事業費

助成

3億4,900万円

- ・小規模事業者の新たなビジネスモデル構築への支援(補助率2/3、上限50万円)

4 豊かな暮らしの実現②

● 農林水産業の持続的発展への支援

持続的農業経営支援事業費助成(新規)

1億円

- ・中規模農業経営体が行う、SDGsに資する施設・機械等の導入を支援(補助率1/3)



鉄骨ハウスの更新



路網整備(林内)

県産材安定供給生産基盤整備事業費助成(新規)

1億5,000万円

- ・県産材の需要増に対応する路網整備等を緊急的に支援(R5~R6)



<水中ドローン>



<マグロ釣り機>

デジタル機器等を活用した生産性向上(新たな取組)

水産イノベーション推進事業費助成

8,000万円

- 水産振興や資源管理等の新たな取組を支援(補助率2/3、上限50万円 ほか)

R4:100件 → R5:170件

4 豊かな暮らしの実現③

● 移住・定住の促進

ふじのくに移住・就業支援事業費 5億3,100万円

- ・首都圏から本県に移住し、就業・起業した方等への支援金

【拡充】子育て世帯の加算額を増額(30→100万円/人)

ふじのくにライフスタイル創出住宅 リフォーム事業費助成 1億円

- ・仕事と住まいの両立に向けた改修(テレワークへの対応)を支援
(補助率1/2)



テレワークスペース設置

ふじのくにに住みかえる事業費 5,300万円

【新規】首都圏テレワーカー向けターゲティング広告

● 多様なワークスタイルの実現

クラウドワークサービス利活用促進事業費(新規) 2,800万円

- ・自由度の高いワークスタイル実現に向けたクラウドワークサービス利用者のスキルアップ等を支援

多様な働き方導入推進事業費 3,700万円

- ・県内企業へのテレワーク等の「新しい働き方」導入を支援

【新規】テレワーク未導入企業に対するアウトリーチ支援(100社)

多彩なライフスタイル創出環境づくり強化事業費 5,100万円

【新規】若者や女性に魅力ある雇用機会を提供するサービス業等の企業誘致 ほか

4 豊かな暮らしの実現④

●物価高騰対策

- ・国は、電気料金やガソリン価格引き下げなど、県民生活を広く支える政策を実施
- ・県は中長期的な視点に立ち、社会経済環境の変化に対応できる強靱な社会の構築に向けて、支援の軸足を転換

R4: 緊急対策としての幅広い支援



R5: 新事業展開・脱炭素化支援

令和5年度の主な事業

< 事業者支援 >

- 創エネ・省エネ設備の導入支援
- 中小企業等の新事業展開に対する支援
- 農林水産業の持続的な成長への支援
- 観光需要早期回復に向けたキャンペーン等の展開

< 生活者支援 >

- 生活困窮者への相談・就労支援
 - 県立高校、私立高校の授業料減免
- ほか

R4～累計約**310**億円

5 魅力の発信と交流の拡大①

東アジア文化都市2023静岡県の開催

●東アジア文化都市

日本(静岡県)・中国(成都、梅州)・韓国(全州)で選ばれた都市が、年間を通じて国際交流や文化芸術の魅力を発信



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

●静岡県のコンセプト

「ようこそ！文化が花開く ふじのくに芸術回廊へ！」
Welcome to the "Open Garden Theatre" of Culture and Art!

●スケジュール

主なスケジュール								コア期間			
2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
◆1月 4都市同時開幕			◆4月29日～ せかい演劇祭 会場/駿府城公園(静岡市葵区)など		◆6月22日 富士山世界遺産 登録10周年記念式典			◆9月～11月 中韓との交流を含む文化芸術 イベントを集中的に実施します			◆12月 閉幕
本県独自の さまざまな 文化芸術イベントが、 一年間切れ目なく 開催されます!		◆2月23日 東アジア文化都市宣言・ 富士山の日フェスタ 会場/ブラサヴェルデ(沼津市)		◆5月2日 東アジア文化都市 2023静岡県春の式典 会場/グランシップ(静岡市駿河区)		◆7月1日～3日 富士山世界遺産10周年記念 国際シンポジウム			◆10月28日～ 静岡国際オペラコンクール 会場/アクトシティ浜松(浜松市中区)		◆秋の式典

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり
～日本の「文化首都」の開幕～



5 魅力の発信と交流の拡大②

●日本の「文化首都」として、文化芸術の魅力を国内外へ発信 (スポーツ、食、ファッション、芸術・芸能、温泉、旅、花・庭ほか)

東アジア文化都市推進事業費 4億9,800万円

- ・春(R5.5月)、秋(R5.12月)の式典
- ・国際交流、情報発信

コア事業 7億6,100万円

- ・せかい演劇祭、静岡国際オペラコンクール、伊豆文学祭など、文化芸術を発信(45本)

協働プログラム 9億円

- ・花博20周年、ガストロノミーツーリズムなど、幅広い分野で展開(178本)

地域連携プログラム

- ・市町や民間団体が行うプログラムへの助成
- ・市町や民間主催イベントを数多く認証



せかい演劇祭



静岡国際オペラコンクール



サイクルツーリズム



食文化の発信

【目標】過去の東アジア文化都市最大規模の実績

事業数:500本以上 経済効果:100億円以上 来場者数:360万人以上

5 魅力の発信と交流の拡大③

● 富士山世界文化遺産登録10周年

富士山世界文化遺産登録10周年機運醸成事業費(新規) 5,800万円

- ・世界遺産構成市町や山梨県等との連携による記念行事の開催 ほか



三霊山連携協定(R5.1.22)

● 浜名湖花博20周年

浜名湖花博20周年記念事業開催事業費 7億2,800万円

- ・令和6年春の開催に向けた準備 (浜名湖ガーデンパーク)
- ・「東アジア文化都市」と関連したプレイベントを開催 (庭園・茶・食をテーマとした文化の発信)
- ・デジタル技術を活用したサービスや暮らしの提示



浜名湖ガーデンパーク(花き振興、自動運転など)

5 魅力の発信と交流の拡大④

● スポーツの聖地づくり

スポーツコミッション推進事業費
6,100万円

- ・ 県域スポーツコミッションの設置 (R5.4月)
- ・ 大会、合宿の誘致を支援 ほか

**パラスポーツの聖地づくり推進事業費
(新規)** 3,800万円

- ・ 官民連携コンソーシアムの設立
- ・ パラスポーツ情報センターの設置 ほか

**遠州灘海浜公園(篠原地区)官民連携導入
可能性調査事業費(新規)** 3,000万円

- ・ 公園の運営等に民間資金を活用する官民連携の可能性を調査

● 観光誘客・空港振興の強化

観光誘客関連事業費 9億2,100万円

- ・ 観光需要の本格的回復に向けた宿泊キャンペーン等を機動的に展開

空港就航促進等関連事業費 12億4,300万円

- ・ 航空路線復活のための就航促進策の展開 ほか
ソウル定期便(R5.3～)、ベトナムチャーター便(R5.3～4)



日本平夢テラス



富士山静岡空港

方針2 生産性の高い持続可能な行財政運営

- 1 政策の推進に向けた組織体制の強化
- 2 将来にわたって安心な財政運営の堅持

1 政策の推進に向けた組織体制の強化

喫緊の課題である安全・安心な地域づくりに向けて、本県の防疫対策の司令塔となる「ふじのくに感染症管理センター」の設置に必要な体制を整備するほか、不適切な盛土の安全対策や、子どもの安全確保に向けた指導体制、災害時における県と市町の連携体制を強化する。

<① 感染症への対応力の向上>

□ 「ふじのくに感染症管理センター」の開設

- ・ 新興・再興感染症に備えた、感染症対策の拠点設置
- ・ 本庁から感染症対策課を移転し、体制拡充(+3人)

<16人体制>



※現静岡県総合健康センター内に開設
(令和6年1月から静岡県健康福祉交流プラザに改称)

<② 子どもの安全確保>

□ 保育園・幼稚園等に対する指導体制の強化

- ・ 私学振興課及び福祉指導課の増員(+6人)

□ 児童虐待に対する体制の強化

- ・ 児童相談所の計画的な増員(+3人)



安心・安全な
地域づくり

<③ 不適切な盛土に対する安全対策>

□ 指導・監視の強化や盛土規制法への対応

- ・ 盛土対策課の増員(+6人) <19人体制>

□ 盛土許可申請に係る利便性の向上

- ・ 許可申請窓口を新たに8土木事務所に設置



<④ 防災対応力の強化>

□ 発災時における県と市町の連携体制の強化

- ・ 危機対策課の増員(+1人)

- ・ 有事に備えた市町支援機動班の設置(45人体制)

※令和5年1月に設置済



2 将来にわたって安心な財政運営の堅持

<事業見直しの取組>

歳出の見直し等により73億円の財源を捻出

区 分	見直し額		備 考
	R4	R5	
歳出の見直し	38億円	36億円	・委託事業の見直し ・予算計上額の適正化 ほか
歳入の確保	32億円	37億円	・寄附金の活用 ・国庫・外部資金獲得 ほか
計	70億円	73億円	

<県債残高(見込)>

通常債は減少の見通し(△213億円)

区 分	R4年度末	R5年度末	増 減
一般会計	2兆8,629億円	2兆8,087億円	△542億円
通常債	1兆6,352億円	1兆6,139億円	△213億円